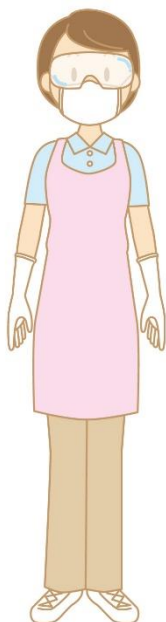


★口腔ケアのポイント★

- ・口腔衛生の確保は、高齢者施設で行える肺炎予防の最も基本的な対策のひとつです。
- ・口腔内で薬剤耐性菌が増殖している入居者では、薬剤耐性菌が肺炎の原因となる可能性があります。薬剤耐性菌による感染症は治療が難しいため、口腔ケアによってこれを防ぐ必要があります。
- ・口腔内状態を良好に保つことは、肺炎予防に役立つのみならず、発声コミュニケーションなど、入居者の生活の質に大きな影響を及ぼします。また口腔機能の改善によって、誤嚥しにくくなる効果も期待できます。
- ・口腔機能は日々変化するため、日常の会話・食事・飲水行動などを注意深く見守り、異常がみられたら早期に報告・対応することが重要です。
- ・口腔ケアは、食後だけでなく、食前から始まっています。日課として継続的な口腔ケアを取り入れていきましょう。

■ この作業に必要な個人防護具 ■



サージカルマスク
使い捨て手袋
使い捨てビニルエプロン
フェイスシールドまたはゴーグル

口腔ケアは、入居者間に病原体が伝播しやすい行為です。衛生的に実施し、感染対策を心がけましょう。



■ 施設全体の管理 ■

- ◆ 歯科医師・歯科衛生士と協力して、口腔ケアに関する研修会等を行い、スタッフの口腔ケアへの意識向上・スキル向上を図りましょう。 **守る!**
- ◆ 口腔ケアの内容を、個々のスタッフに任せきりにせず、歯科医師・歯科衛生士と協力して施設で統一した方法を教育しましょう。 **目標**
- ◆ 週1回程度、歯科衛生士による訪問チェック・指導を受けることを推奨します。 **目標**
- ◆ 口腔ケア用品は入居者ごとに管理しましょう。 **守る!**
※多数の物品をまとめて保管すると、口腔ケア用品同士が接触し、そこを介して病原体が伝播するおそれがあるため、避けます。 **ダメ!**
- ◆ 経管栄養の入居者でも口腔ケアは必要なので、時間を決めて実施しましょう。 **守る!**

■ 口腔ケアの順序 ■

- ◆ 複数の入居者の口腔ケアを介助する場合、以下の入居者の順序は最後にすることを推奨します。 **目標**

★ 口腔ケアの順序を最後にした方が良い入居者（数字が小さいほど最後にした方が良い）★

1. 新型コロナウイルス感染（疑い・濃厚接触者含む）
2. 呼吸器症状（咳・くしゃみ）がある入居者
（とくにインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行時期・発生地域で）
3. 口腔内に出血や、排膿がみられる入居者
4. インフルエンザに罹患し、解熱して5日間経っていない入居者

■ 口腔ケア時の个人防护具 ■

- ◆ 使い捨て手袋・サージカルマスク・使い捨てビニルエプロン・フェイスシールド（またはゴーグル）が必要です。 **守る!**
※清潔に管理できるなら、口腔ケア用の使い捨てでないエプロンでも可です。ただし、他の業務と共用しないようにします。 **次善策**
※可能な限り、フェイスシールド（またはゴーグル）を着用しましょう。特にインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行時期・発生地域では着用が必須です。 **目標**
- ◆ 入居者ごとに手袋を外し、手指消毒用アルコールによる手指衛生を実施します。 **目標**
- ◆ 上記の「順序を最後にした方が良い入居者」の口腔ケアを行った後は、手袋・エプロンを交換し、手指消毒用アルコールによる手指衛生を実施しましょう。 **守る!**

■ 口腔ケア時の注意点 ■

<<準備>>

- ◆ 食事前に口腔体操・唾液腺のマッサージを行っておくことを推奨します。 **目標**
- ◆ 口腔ケア介助の開始前には、手指消毒用アルコールによる手指衛生を実施しましょう。 **守る!**

<<実施>>

- ◆ 食後の口腔ケアでは、口腔内の状態をよく観察し、定期的に歯科衛生士などに報告しましょう。 **目標**
- ◆ 脱落しそうな歯がある場合は、誤嚥の危険があるので早めに歯科受診を行いましょう。 **守る!**
- ◆ 寝たままの入居者、麻痺・嚥下障害のある入居者の口腔ケアでは、行為そのものが誤嚥を起こすリスクがあるため注意して実施しましょう。 **守る!**

※体を横向きにして実施するか、無理なら状態を少し起こした仰向けで顔を横（健常側）に向けて実施します。吸引器を使用するやり方もあります。 **目標**

<<片付け・次の作業への準備>>

- ◆ 口腔ケア終了後、手袋>（手指衛生）>エプロン・フェイスシールド（ゴーグル）>手指衛生>マスクの順で外し、最後にもう一度、手指消毒用アルコールによる手指衛生を実施します。 **守る!**
- ◆ 使用後の口腔ケア物品は、新しい手袋を着用し、水で洗浄します。可能であれば、時々食器用洗剤で洗浄しましょう。 **守る!**
- ◆ 口腔ケア物品の洗浄は、入居者ごとに実施します。まとめて洗ったり、同じ桶に入れたりしないようにします。 **ダメ!**
- ◆ 物品は個人ごとに保管し、よく乾燥させます。入居者間の物品同士が接触しないように配置します。 **守る!**
- ◆ ブラシ部分は上に向けて保管しましょう。 **目標**
- ◆ 歯ブラシは1か月程度で交換しましょう。 **目標**
- ◆ スポンジブラシは、原則として毎回捨てましょう。 **目標**



■ 新型コロナウイルス感染症に関する注意点 ■

- ◆新型コロナウイルス感染症でも口腔ケアは必要なので、個人防護具を確実に着用して安全に行いましょう。 **守る!**
- ◆入居者の飛沫を浴びにくいような位置を工夫して実施しましょう。 **目標**
- ◆実施後、個人防護具を外した後の手指衛生の範囲は肘の上まで実施することを推奨します。 **目標**

※この手順書は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）の研究助成を受けて作成したものです。

採択年度：2018年度 事業名：長寿・障害総合研究事業 研究期間：2018年4月—2021年3月

課題名：長期滞在型高齢者福祉施設における効率的な感染対策プログラムの開発 研究代表者：笹原鉄平（自治医科大学）